（別紙３）

公表　児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動療育はいたっち　蒲生四丁目教室			
○保護者評価実施期間	R7年　2月　14日	～	R7年　3月　10日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	20(19)	（回答者数）	14
○従業者評価実施期間	R7年　3月　1日	～	R7年　3月　10日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年　3月　14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い指導員が支援を行っていること。	運動に関してプロフェッショナルな指導員が、丁寧に支援を行います。指導員１人に対して、利用者様１～２人の少人数でレッスンを行なっているため、適切な支援を行うことができています。	より良い支援を行うために、研究や実践を重ねてまいります。
2	様々な運動にまつわるメニューを提供していること。	運動を通して認知能力や言語能力、社会性やコミュニケーション能力を高められるように、支援内容に様々な工夫を施しています。	メニューを法人内で共有し、有効なものをポートフォリオして行きます。
3	広い室内スペースで運動を行えること。	複数人が運動をしても、接触等が無いよう広いスペースを用意しています。	運動器具を増やし、施設の充実を目指します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	指導員の人数が少なく、幅広く支援ができていない現状があります。	理学療法士等の他分野の専門的な知見を持ったスタッフが在籍していないこと。	新しいスタッフの採用活動を行います。また、阿倍野教室の理学療法士の先生と情報共有を行います。
2			
3			